



写真提供 木下徳康さん(毛賀)

青空に60匹の鯉

毛賀区子どもまつり

5月5日こどもの日、毛賀区民会館前の広場に区内の人たちから集められた60匹あまりのこいのぼりが並び、青空にはためいた。

毛賀区壮年会が2年ほど前から計画した子供たちのための春祭りである。毛賀区壮年会長の竹内敬司さんは「毛賀沢の上にはたくさんこのぼりを吊し、国道を通る人たちにでも見せたい、毛賀をアピールしたかったのですが、様々な規制のため、相談して区民会館の広場で春祭りとして子供たちのお祭りという催しにしたい」と話した。壮年会が出品したジュースや焼きそば、焼き鳥などの屋台が並び、たくさんの方が集まり子供たちもゲームを楽しんだ。夜にはこいのぼりの上に毛賀打舞会による花火が上がるといふ勇壮かつ華麗な祭りとなった。



発行所 飯田市松尾公民館
編集人 松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

寺所区

待望の新獅子誕生!



新獅子は毛がフサフサだね

寺所区民全員が支える獅子舞保存会では、平成23年度飯田市コミュニティ助成事業を受け獅子をはじめ、お囃子の楽器類を一新した。獅子頭は1級井波木彫刻士の大沢秀樹さん、幌は染物処スミツネ、屋台は大島建築、楽器は早稲の杜によるもので、従来の獅子と瓜ふたつのため区民には親しみやすい新獅子となった。

3月11日には各関係者と区民にて入魂式および新・旧獅子の記念演舞が清々しい晴天の下行われた。宮澤紀元男保存会長は演舞に際して「新旧の獅子と一緒に舞う姿は寺所の歴史の中でも無かったし、これからの目にするのではないだろうから眼にしつかり焼き付けてほしい」と語った。その後、祝賀会では新調するにあたってお世話になった各関係者から祝辞をいただき、森本美保子市議は「歴代の保存会長や寺所の念願であつた事が叶い、旧獅子も満足げな顔に見える」と述べた。

選手の力走身近に!

2年ぶりの開催、南信州ステージ

5月23日、国内最高峰の自転車ロードレース「第15回ツアー・オブ・ジャパン 第3戦南信州ステージ」が、松尾総合運動場前をゴールとして、下久堅に設定された1周約12・2kmを12周する山岳コース(全長148km)で開催された。



最難関ヘアピンカーブ

16チームが出場した。当日は、朝から晴天に恵まれ、昼ごろには気温も上昇。観戦するには少し暑すぎる日となったが、沿道の観戦ポイントではたくさん観客が集まり、目の前を駆け抜ける自転車のスピードと迫力や、息づかいも聞こえる選手の力走に、盛んに声援を送っていた。また、地元の小中学生が選手の熱戦に歓喜する姿も見られた。

自治振興センター職員の異動

今年4月の市役所人事異動により、新しく2人が着任しました。



○所長 塚平 賢志
市内屈指の大規模地区である松尾に配属となり身の引き締まる思いです。皆様、よろしくお願いたします。



○公民館主事 横山 淳也
松尾地区の公民館活動のために、精一杯がんばりたいと思います。皆様、よろしくお願いたします。

○公民館主事 西尾 章広
(生涯学習・スポーツ課)

田植えの時期が終わり松尾地区でも田は水を満々とたたえ道を歩けばどこからともなく水の流れる音が聞こえてくる。のどかだと感じる▼何年前からか地元の保育園児が松尾の史跡を巡る活動を地域住民が支えている。「歩歩歩の会」(松尾東保育園主催)というのだそう。清水巡りでは清水の所有者に招かれた園児が湧水の感触を知る。久井区二の丸御門(通称八間門)や新井区古墳など由来を理解することはむずかしいだろうが、子供なりに覚えようとする姿は一生懸命だ▼松尾は史跡巡りには恵まれた場所である。15年程前になるだろうか前公民館長の故塩沢正人氏が松尾小学校長だった頃。休日に児童を集め、松尾城跡を起点とし古墳を巡る活動があつたが、当時参加した児童の親で史跡巡りの活動に参加している者もいる▼思井川では時季になると今でも梅花藻が花をつける。育成会でも「水中生物を見つけてよう」という活動が行われている▼とうとうと流れる川の水を見てみると、変貌する町並みとは対照的に変わらぬ自然や人の諸行に安どする。継承されてきた先人の思いを松尾の将来に伝えたいものだ。



松尾の人口
男子 5,981人
女子 6,657人
計 12,638人
世帯数 4,639世帯
5月末現在

特集

「まちづくりと人づくり」

平成24年度 公民館役員を紹介します

松尾公民館は、交流や学習を通じて人と人との絆を深め地域資源を活かした実践活動を行うことで、松尾のさらなる振興を図ってまいります。

分館活動を盛り上げ、松尾の各地区のつながりをつくる公民館役員の中で、今回は次の4つの委員会を紹介いたします。

体育委員会

運動会や各種スポーツ大会など、体育事業を企画・開催します。



体育委員長 齊藤好雄

松尾公民館体育委員会の活動の趣旨は、スポーツや運動を通して区民皆さんの健康の増進!と思われがちですが、それが全てとは私自身思っています。近年の大震災から教えられたことは、助け合う心、地域の結束、お互い様と思える心。そういったまちづくり、ひ



とづくりに体育委員会の活動は大きく貢献が出来るのではなから思っています。分館対抗の各スポーツ大会や3千人の区民が参加する運動会など、選手選定ではご苦労をかけます。しかし皆で協力して成し遂げた一体感や充実感ほまさにスポーツや運動の成せる技でありま

まあとにかく、一年を通して楽しく参加して頂きますよう頑張りますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

文化委員長 丸山基治

つながっていくものと考え

松尾の皆さんの智慧と力に依拠し、「明るく・楽しく、



文化委員長 丸山基治

空には陽光が燦々と輝き、子供たちが元気に畑づくり。ここは明の「まけるな農園」です。「絆」が求められる

総務企画委員会

各種学習会や親子体験教室など、松尾公民館本館の活動を企画・開催します。

総務企画委員長 奥村和徳

飛べたり、木工教室もこうした機会に親同士の交流も広がって、地域の行事に参加する人が増えていく。そんな



平成24年度 公民館役員名簿

Table listing the names and positions of the Citizen Center staff for the 24th year, including Branch Chief, Deputy Branch Chief, Branch Chief, Cultural Committee, Sports Committee, and Publicity Committee members.

館長委嘱

Table listing the assignments of the Branch Chief, including Cultural, Sports, Publicity, and General Affairs and Planning committees.

スポーツ推進委員 田中 利治 山中 由美 竹下 広志 三石 陽次 ◎委員長 ○副委員長

まちづくり委員会

総会開催

平成24年度松尾地区まちづくり委員会総会が5月15日松尾公民館で開催され、平成23年度の事業報告と会計報告、及び平成24年度の事業計画案と予算案の報告が行われた。

松尾地区まちづくり委員会は、2年前に委員会組織を一本化する見直しを行い、昨年度は新しい組織としてスタート。「地区民に分かりやすい組織」「資金の流れが明確で透明性の高い会計」「必要な情報が地区民に行き届く情報伝達」の3つに重点を置き活動してきた。この1年を振り返り、委員会から「一定の成果はあったが、今後この組織がより機能



まけるな農園

農業体験が行われた。少し汗ばむような陽気の中、子供が10人、総務企画委員と農業委員を含む大人20人が集まった。この日は、ヤーコン、アンノウイモ、ベニアズマ、ジャンボカボチャの苗が植えられた。農業委員のた

5月20日、明区の信濃雪豆腐に隣接する「まけるな農園」で野菜の苗を植える

この畑にはすでに、ニンジンが植えられており、7月には大豆を蒔く予定もある。秋の収穫祭が待ちどおしい。2時間ほど



楽しみ~!!



文化委員会

文化祭や人形劇フェスタ、成人式など、文化事業を企画・開催します。

公民館文化委員会の丸山です。ご存じのように文化委員会では、夏は親子映画鑑賞会・人形劇フェスタ、冬は年賀状展・文化祭など大きな行事を地域の皆さんの協力のもと行っています。一つ一つの行事を継続して行っていくことが文化に

齢化の進行にともないこれまで地域で様々な活動を担われていた方々が第一線を退きつつあります。多くの先輩方が築かれてきた貴重な文化を再発見、継承し未来へつなげていけるような活動を模索しています。



館長ついで

こんにちは角田です

前号(第218号3月31日)では、NHK「ふるさとの歌百選」のベスト10に、長野県出身者の歌が5つも入っていたと伝えた。今回はその続き。信州には、どの世代の人たちにも歌い継がれている曲が多く、それはふるさとの風景をイメージさせる。北アルプスをうたった「山小屋の灯」、野辺山の風景「北国の春」、千曲川河畔の風景「千曲川」、安曇野の風景「早春賦」、霧ヶ峰八島湿原に咲く「あざみの歌」等々。これらの曲が歌い継がれる背景には、信州の美しい風景と、信州人への濃密なふるさと教育があるのではないだろうか。地方の心と自然を一体とした教育がなされてきた証である。少し趣を異にするが、飯田にも、都はるみが歌っている「飯田銀座音頭」があり、終戦間もなく渡辺は

心の風景を次の世代に

携帯電話のスケジュール表には、計画をピシリ書き込んでいても、まだ「iPad」には触れられない私。松尾の風景を大画面で映して持ち歩きたい。

ま子が歌った「ああモンテンパの夜は更けて」の曲もある。放っておけば忘れられがちな地域の自然や人の心の温かさも、後世に伝えていくことが大切だ。民度(その地域住民の生活や文化や意識のレベル)を高める役割を公民館は担っている。

館長よ

そののけそののけ

愛パッド

角田

公民館の主な行事予定 (7月～9月)

- 【7月】
 - 1日(日) まけるな農園
まつお新聞第219号発行
 - 5日(木) 探勝会
 - 7日(土) 親子映画鑑賞会
 - 14日(土) ラフティング体験教室
 - 下旬 まけるな農園
- 【8月】
 - 2日(木)～5日(日) いいだ人形劇フェスタ2012
 - 26日(日) 分館対抗マレットゴルフ大会
 - 下旬 まけるな農園
- 【9月】
 - 中旬 まけるな農園
 - 下旬 3地区合同女性バレーボール大会

今、親子で汗して農業体験し、食育に勤しむ。収穫した野菜は子供たちも一緒に賑やかに楽しく調理をする。またあるときはロケットを飛ばす。公民館の活動は地域の「絆」そのものです。各分館が元気であれば、松尾全体が生き生きとして街が賑わいます。まちづくり委員会の目指すところでもあります。総務企画委員会ではこんなことを考え実行していきます。

広報委員会

年に4回の「まつお新聞」の発行を行います。

広報委員長 平澤淑子



広報委員会はまつお新聞を作る仕事をしています。まちづくり委員会の再スタートに伴い、昨年度2ページから4ページに増やし、文字も大きくしました。引き続き、より見やすく親しま

れる紙面を心がけていきます。広報委員会一同で、地域の話題や課題に取り組み、地域に密着した新聞作りを目指します。ぜひ松尾地区の皆さんからも情報・ご意見を寄せていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後1～5時
土曜 午前10～午後5時
日曜 午後1～5時

本のリクエストも受けつけています。

健やかな魂を育む 松尾小学校土俵開き



で作業も終わり、角田館長からは「秋の収穫祭を楽しみにしていただきたい」とあいさつがあった。

毎年恒例、松尾小学校の土俵開きが5月15日朝に開催された。当日は雨天のため体育館にマット状の土俵が設けられ全校児童や教師、松尾地区まちづくり委員、同地区各区長参列の下で行われた。校長と児童会長のあいさつに続き、すもう部25人中17人の代表が、四股踏みやすり足を披露した。四股踏み(写真)では高々と足が上がり、すり足では腰が良く割れて足さばきも力強く、日頃の成果が見られた。ぶつかり稽古の後、東西に分かれて全9番の取り組みが披露された。どの取り組みも真



強く、また小さな児童は身体ごと相手に向かい、迫力あるものであった。小学生力士たちの表情は皆力強く真剣勝負そのものであり、最初は静かに見守っていた児童や教師からも大きな歓声や拍手が上がっていた。部員はクラブ活動の他、休日にも校庭に常設された専用土俵に通い、指導者や保護者に見守られながら日々稽古に励んでいる。この土俵は2007年に新設されたが、雨天用に屋根の設置を望む地域住民や卒業生の声も聞かれた。

「水城区の宝」古墳と桜を守ろう！

平成12年に飯田市史跡・天然記念物に指定された水佐代獅子塚のエドヒガンは「お立符」の桜と呼ばれている。この史跡は子供たちの散歩や社会学習の場、またお花見など区民の憩いの場として親しまれている。大きな前方後円墳の上にとっしりと立つ老桜は推定樹齢350年以上で、仰ぎ見る人々の心を惹きつけている。「水城区の宝」であるこの古墳と

銘桜を今の姿のまま後世に残していこうと平成14年「水城区と水城お立符保存会」が結成された。以来保存会を中心に、日曜朝の小学生による清掃作業を始め、高齢者による草取り作業など幅広い区民の手で守り続けられている。このことは区民の融和と親睦を高めることにもつながっている。保存会では2カ月に1回の早期作業や桜や古墳に関するミニ学習会、樹木医の指導を受けての土砂流出防止柵作りや支柱柱の設置、さらに根元への土入れや幹や樹皮の手入れなどの保存活動作業をしている。昨年はアメシロが大発生したが突然のことにもかかわらず多くの区民の協力で



春爛漫のエドヒガン

駆除作業ができたという。こうして区民の手で守り続けられ、今年の春も、その立地と樹形や花の美しさを見に多くの人が訪れ花見を楽しんでいた。

ふれあいひろば

5月13日松尾小学校体育館にてニュースポーツ普及



キンボール講習会

の目的からペタンク・囲碁ボール・ワンバウンドふらばーの体験講習会が開催された。



還暦の会(祈願祭)

松尾公民館ホールで約20万円が贈呈された。

古来の井水が泣いとる

山下井水利組合(組合員数196戸、水路は上溝から新井、寺所)は、4月29日に組合員総出労の井口開け作業を行った。上流から来たゴミを再び砂と一緒に流しちゃうぞい！という組合員の思いから、昨年よりゴミ拾い



そのまま埋め立て？洗って資源？

に取り組んでいる。ゴミゼ口運動どこ吹く風、今年もビニールや発泡スチロールなどのゴミでいっぱいだった。中には古いタイヤまでも。砂が入った空き缶は洗い出し、レジ袋も洗って乾かしたので手間と時間がかかった。そのまま埋め立ててゴミにしたら埋め立て地がすぐ溢れてしまうとの思いからの作業だった。「井水を切り開いたご先祖たちの知恵と苦勞に感謝し、我田引水を戒め、現代の知恵を加えてこの井水を次世代に引き継ぎたい」と森本政人組合長は語る。

代田区 ニュースポーツ普及 散策

代田分館主催の歩こう会が5月3日開催され、代田区民90人あまりが参加し久井から毛賀まで続く緑地帯

の散策を行った。今回は、松尾まちづくり委員会を取り組んでいる「松尾グリーンベルト」を

午後、下の宮諏訪神社の裏山から狐塚古墳へと向い管理が行き届いた遊歩道には、参加者もびっくり。

途中、狐の巣穴の跡の説明に思わず足を止め覗き込んだ。最後にくよとの葉桜をながめ解散となった。身近で手軽に山歩き・森林浴・歴史探訪が楽しめる緑地帯の良さを肌で感じた歩



ハナモモ並木にレンズを向ける

代田公民館での出発式では、井上久美区長より「グリーンベルトの里山を散策し、いろいろなものを肌で感じたり見たりしてもらいたい」とのあいさつの後、松尾まちづくり委員会で作成された「松尾グリーンベルト散策マップ」を手に散策を楽しんだ。なじみの深い鳩ヶ嶺八幡宮本殿を通り

の裏山から狐塚古墳へと向い管理が行き届いた遊歩道には、参加者もびっくり。途中、狐の巣穴の跡の説明に思わず足を止め覗き込んだ。最後にくよとの葉桜をながめ解散となった。身近で手軽に山歩き・森林浴・歴史探訪が楽しめる緑地帯の良さを肌で感じた歩

明区

御神田お田植え 無事終了



神様にお願いしながら……

来年度、鳩ヶ嶺八幡宮秋季例大祭の年番にあたる明区では、5月20日、御神田のお田植えを行った。好天に恵まれ、まさに田植え日和。法被姿の明区役員、壮年会員や中年会員らが見守る中、神主によりお清めがなされた。そして、いよいよお田植え。この日

のために明区の小学6年生10人が集まった。法被姿の子供たちは学校でのお田植えは経験しているものの、神事の様子を見て緊張気味。裸足で田んぼに入ると手渡された苗を持ち、15秒間隔で慎重に植えていった。

塩澤泰和区長は、「無事にお田植えができて一安心。できた藁は、八幡様のしめ縄に利用する。長くて丈夫な稲藁ができるまで、しっかり育てたい」と語った。また、田植えに参加した6年生の福島綾乃さんは、「神様に成長をお願いしながら丁寧に植えた。私たちが植えた稲が育っていくのがうれしい」と、感慨深げだった。

開会式では、中島策雄区長より「ソフトボールからペタンクに変更後、天気の良い年が続くが大変残念であったが、今年は大変に恵まれて無事開催できた良かった」と言葉があり、続けて小澤由徳体育部長よりルール説明。大谷栄造分館長からも「区民の親睦を深めて、怪我の無いよう楽しい大会にしてほしい」とあいさつがあり競技を開始した。会場ではあちらこちらで鉄のボールがぶつかり合う音色が鳴り響いた。



どっちが近いかな？

常盤台

青空の下ペタンク大会

は5月27日、親睦ペタンク大会を開催し、常盤台区民の90人近くが会場の矢高グランドに集まった。

常盤台区は5月27日、親睦ペタンク大会を開催し、常盤台区民の90人近くが会場の矢高グランドに集まった。

常盤台区の親睦スポーツ大会は平成17年までソフトボール大会を開催していたが、お年寄りから子供まで誰でも参加できる競技がないかとの要望から、平成18年よりペタンク大会に変更され、現在も続いている。今年も老若男女が優勝を狙いながら和気あいあいと競技に打ち込み、さわやかな汗を流す大会となった。

平成24年5月15日(火)

松尾地区まちづくり委員会総会開催

今年度重点目標、各部重点事項などが決定されました。

松尾地区まちづくり委員会総会が開催され、今年度の重点目標、各部重点事項、活動計画などが決定され、今年度の活動が本格的にスタートしました。

宮下吉彰会長 あいさつ要旨

松尾地区では一昨年の平成22年度に一年かけて組織の見直し作業に取り組み、23年度から、新たなまちづくり委員会をスタートさせました。
自治会を始め、各種団体が統合し、新しい組織が発足したわけですが、昨年度の活動を振り返ると、「分りやすい組織」、「会計の

透明化」、「情報伝達、情報共有の推進」といった目標は、ある程度、達成することができたのではないかと考えています。

今年度は、新たなまちづくり委員会として二年目を迎えますが、安全安心な生活や、将来を見据えた地域活性化のため、本総会で審議いただく重点目標に沿って、まちづくり委員会一丸となって取り組んでいきたいと思います。

特に防災対策には、力を

平成24年度 松尾地区のまちづくり 重点目標

◎みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり

- ・まちづくり委員会を中心とした多様な主体が連携協力した事業の実施
- ・適切な情報伝達と情報共有による地域活動への参加意識の高揚
- ・地域の人と資源をいかした元気の出る取り組みの推進

◎安心して暮らせる安全なまちづくり

- ・近隣地区との連携による内水排除対策や防災体制の強化
- ・秩序あるまちづくりのための土地利用計画及び道路整備計画の策定
- ・地域安全大会を通じた交通事故抑止、防犯・防火意識の高揚

◎子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり

- ・「地域の子どもは地域で育てる」ための教育支援の推進
- ・「心のふれあいを求めて」あいさつ・みまもり運動の推進
- ・「生涯現役」のための健康福祉事業の推進

注いでまいりたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成24年度各部の重点事項と活動計画

まちづくり委員会(本会)

- ◆重点事項◆
 - ①グリーンベルトの保全
 - ②慈光松尾保育園跡地利用
 - ③国道151号線の渋滞解消
 - ④内水排除対策
 - ⑤防災対策の確立
 - ⑥八幡宮ライトアップ
- ◆活動計画◆
 - ①総会 2回開催を予定
 - ②企画会議 毎月10日開催
 - ③推進会議 毎月20日開催
 - ④本会事業 学校支援ボランティア事業、八幡宮ライトアップ事業ほか
 - ⑤その他 研修事業、飯田市まちづくり委員会連絡会への参加ほか

総務部

- ◆重点事項◆
 - ①グリーンベルトの保全の検討
 - ②まちづくり組織運営評価
 - ③活動計画
 - ④グリーンベルトの保全の検討 松尾地区土地利用計画に基づき、グリーンベルトの保全を検討
 - ⑤財産区有林の管理と小学生の遠足の支援
 - ⑥まちづくり組織運営評価
 - ⑦区と連携したあいさつ・みまもり運動の推進

地域振興部

- ◆重点事項◆
 - ①道路・水路等の改良補修の促進
 - ②内水排除対策の推進
 - ③土地利用計画の策定
 - ④組合未加入者の加入促進
 - ⑤活力ある地域づくり
- ◆活動計画◆
 - ①各区道路等の市・県等への要望活動、市道188号・国道256号歩道・県道新井伊那八幡(停線)の改良促進、国道151号と256号交差点渋滞解消促進、広域的道路計画の検討
 - ②内水排水ポンプ訓練参加
 - ③土地利用計画の策定 地区内白地地域の検討
 - ④組合未加入者加入促進
 - ⑤各々の情報交換、産業団体やまちづくり協力団体との懇談、情報交換
 - ⑥その他 自主防災組織の強化、各区組織・役員あり方検討ほか



地域安全運動街頭啓発

生活安全部

- ◆重点事項◆
 - ①防火防犯思想の普及による住みよい安心安全なまちづくりの推進

交通安全部

- ◆重点事項◆
 - ①防火対策事業 住宅用火災警報器の普及促進、火災予防運動、防火・防犯講演会の開催ほか
 - ②防犯対策事業 防犯灯新設維持管理、地域安全運動、防犯パトロールほか
 - ③地域安全大会の開催
 - ④その他 研修会、飯田市安全大会等への参加ほか
- ◆活動計画◆
 - ①高齢者の交通事故防止
 - ②夕暮れ時と夜間の交通事故防止
 - ③飲酒運転の根絶
 - ④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ⑤自転車の安全利用の推進
- ◆活動計画◆
 - ①季節交通安全運動の実施
 - ②交通安全事業の実施 高齢者交通安全教室、チャイルドシート無償提供、県高齢者交通安全モデル地区指定事業、道路環境向上維持活動事業ほか
 - ③その他 研修会開催、祭事等の交通安全協力、保善施設等の交通安全教室への指導者派遣ほか

環境衛生部

- ◆重点事項◆
 - ①ごみの分別と出し方の徹底、廃棄物の減量、リサイクルに関する活動
 - ②環境美化に関する活動
 - ③河川浄化に関する活動
 - ④公害防止に関する活動
- ◆活動計画◆
 - ①ごみ集積所・リサイクルステーションの管理、指導者研修、啓発活動

健康福祉部

- ◆重点事項◆
 - ①松尾地区のまちづくり重点目標と福祉健康の基本理念にある、地域に住まう全ての住民が、安心して健やかな生活が出来る環境と優しさのある地域社会づくりを目指して、地域福祉及び地域住民の健康の増進を図る。
 - ②地域における福祉健康活動を積極的に展開するため、研修会等の開催を通じて、資質の向上に取り組む。
- ◆活動計画◆
 - ①ふれあいサロン、敬老福祉事業、高齢者等移送サービス事業の実施ほか
 - ②健康講演会の開催、各地区健康講座、研修会の開催ほか



堤防美化活動

公民館育成部

- ◆重点事項◆
 - ①住民交流の場である分館

- 活動の後押し
 - ②松尾の地域課題や生活課題を学ぶ「松尾セミナー」の充実
 - ③松尾地区の文化・体育・広報活動のさらなる振興
 - ④まちづくり委員会の中で公民館が果たす役割としての学習と実践
 - ⑤各種団体との交流・連携・支援
- 【育成会】
- ◎心身ともにたくましく健やかで、人情豊かな青少年の育成
 - ①子どもたちを健全に育てるための活動の場の提供
 - ②あいさつ運動の推進(小学生を中心に)
 - ③関係機関団体との連携・協力
- ◆活動計画◆
 - ①地域いきいきセミナー、ニュースポーツ講習会ほか分館活動の支援
 - ②「松尾セミナー」の充実
 - ③松尾地区市民運動会、松尾地区文化祭、人形劇フェスタ2012、松尾地区成人式、館報「まつお新聞」の発行ほか
 - ④農業体験・食育講座「まけるな農園」、親子木工教室、水引教室、サイエンススクールの開催
 - ⑤各種団体との交流・連携・支援ほか

【育成会】

- ①松尾少年スポーツクラブ等の育成支援、PTA活動・地区活動への協力
- ②水中生物をつかまよう、高齢者と児童との交流、モデルロケットをとばそう、おもしろ科学教室
- ③あいさつ運動の推進、松ぼっくりの池の管理ほか

平成23年度 まちづくり委員会会計決算 (本会・各部会計決算の合計)

収入の部 単位：万円
項目 金額 説明
地区の皆様からの会費 2,083 1戸年間6,000円
パワーアップ地域交付金 989 飯田市から
その他補助金 1,031 広報配布委託金、ほっ湯アップル配分金ほか
前年度繰越金 327
基金繰入金 301 緊急対策基金から300万円、ピオトープ基金から5千円
雑収入 20 団体事務負担金、預金利子ほか
収入合計 4,751

支出の部 単位：万円
項目 金額 説明
本会総務費 1,195 役員報酬、駐車場借地料、小中学校支援ほか
総務部 233 やらまいか助成金、各種地域行事費、財産区管理費ほか
地域整備部 404 文書配布交付金、道路改良対策費、各区助成金ほか
生活安全部 159 防犯灯新設・維持、防犯パトロール経費ほか
交通安全部 160 交通安全対策事業ほか
環境衛生部 265 ごみ集積所管理費、各区活動費ほか
健康福祉部 334 ふれあいサロン、敬老福祉事業ほか
公民館育成部 698 各種公民館事業費、分館補助金、松尾新聞発行ほか
その他団体補助 510 文化体育振興会104、自主防災会59、消防団347
元気の出る活動費 141 地域整備部・公民館育成部・健康福祉部の各事業
八幡宮ライトアップ事業費 17 ライトアップ機材費ほか
予備費 9
支出合計 4,124

項目ごとに1万円単位に四捨五入しているため、各項目の計と合計とは一致しない場合があります。
収入4,751万円-支出4,124万円=627万円・・・次年度繰越金(24年度期首の活動費)

平成23年度事業・決算報告
各部の主な事業と決算額をお知らせします。

- まちづくり委員会(本会)
◎土地利用計画検討委員会にて、グリーンベルトに関する基本方針を決定。
▼5万円
◎学校支援ボランティア事業として小学校のクラブ活動支援ボランティアの募集、運営費等を支援
▼6万円
◎松尾小保健室へのエアコン設置を助成(2台)
▼78万円
◎緑ヶ丘中学校教育支援
▼21万円
◎八幡宮紅葉ライトアップ事業
▼17万円
◎松尾ミニ体(公民館隣接体育館)屋根等改修助成
▼76万円
◎松ぼっくり(松尾児童クラブ)運営助成
▼15万円
◎研修事業 中越地震被災地である新潟県小千谷市の「メモリアル回廊」そ
◎功労者表彰式・官公署職員歓迎会
▼11万円
◎新年祝賀式
▼27万円
◎男女共同参画研修会
▼2万円
◎やらまいか松尾まちづくり活動助成事業11団体
▼38万円
◎天竜川美化活動
約380名参加
▼41万円
◎文化体育振興会助成
▼104万円
◎自主防災会助成
▼59万円
◎総務部
◎財産区有林管理、小学生の区有林見学支援
▼8万円



交通安全人波作戦

- 交通安全部
◎広報、交通量調査
▼11万円
◎各種交通警備
▼35万円
◎研修事業
▼16万円
◎道路反射鏡清掃ほか各区活動
▼39万円
◎防犯灯新設、維持管理
▼89万円
◎防犯パトロール
▼6万円
◎住宅用火災警報器他調査
▼1万円
◎環境衛生部
◎ごみ集積所管理
▼47万円
◎リサイクルステーション管理運営
▼31万円
◎天竜川・毛賀沢川堤防美化活動
▼2万円
◎各支部活動助成
▼119万円
◎健康福祉部
◎ふれあいサロン事業
▼26万円
◎敬老福祉事業
▼28万円
◎一人暮らし高齢者ふれあい昼食会事業
▼63万円
◎一人暮らし高齢者料理教室
▼6万円
◎在宅介護者元気回復(リフレッシュ)事業
▼18万円
◎移送サービス事業 延べ

- 環境衛生部
◎健康講演会
▼10万円
◎各地区健康講座 7地区で117人の参加
▼8万円
◎保健推進員研修事業
▼6万円
◎公民館育成部
◎分館活動の支援
▼232万円
◎松尾セミナー、農業体験・食育講座「まけるな農園」、親子木工教室、水引教室等の開催
▼23万円
◎松尾地区市民運動会
約3,000人参加
▼75万円
◎松尾地区文化祭 特別企画SBCラジオサテライト放送、坂橋克明氏講演会を実施。1,000人参加。
▼64万円
◎人形劇フェスタ2011

- 松尾地区成人式
▼4万円
◎松尾地区成人式
129人参加
▼23万円
◎館報「まつお新聞」の発行 4回発行
▼44万円
◎松尾サイエンススクール
▼12万円
◎松尾少年スポーツクラブ等の育成、活動支援
▼29万円
◎小学生モデルロケット
▼9万円



松尾サイエンススクール

平成24年度 役員名簿 (推進会議)

役員名簿表
役職名 備考 氏名 地区
会長 宮下吉彰 久井
副会長 兼務 伊與部昇 城
副会長 兼務 佐々木寿夫 代田
公民館長 角田禎治 新井
総務部長 佐々木寿夫 代田
総務部副部長 浅井菊子 清水
総務部副部長 財産区管理委員長 代田和久 清水
生活安全部長 川尻文夫 代田
交通安全部長 小池昇 寺所
環境衛生部長 小林弘明 毛賀
健康福祉部長 相原正敏 八幡町
公民館育成部長 奥村和徳 代田
地域振興部 上溝区長 松山敏治 上溝
地域振興部 久井区長 岡田明夫 久井
地域振興部副部長 水城区長 高橋通夫 水城
地域振興部 新井区長 常盤英雄 新井
地域振興部副部長 寺所区長 佐々木隆彦 寺所
地域振興部 明区長 塩澤泰和 明
地域振興部 清水区長 佐々木久雄 清水
地域振興部 城区長 伊與部昇 城
地域振興部 八幡町区長 秦文人 八幡町
地域振興部長 代田区長 井上久美 代田
地域振興部 毛賀区長 木下房男 毛賀
地域振興部 常盤台区長 中島策雄 常盤台
相談役 市議会議員 森本美保子 上溝
相談役 市議会議員 村松まり子 八幡町
特別推進員 消防第5分団長 平栗俊之 城
特別推進員 日赤奉仕団分団長 近藤英子 毛賀
特別推進員 民生児童委員協議会長 清水正則 明